

▽世界遺産学習の充実

◎地域文化の振興

▽芸能教室や南部神楽大会の開催による町民の文化意識の高揚推進

▽町芸術文化協会等の活動支援

◎文化遺産の保存と活用

▽「平泉の文化遺産」の保存管理遺産の価値や保護の重要性の発信

▽平泉文化の調査研究や平泉遺跡群の発掘調査推進

▽国立博物館の誘致や平泉文化研究機関の設置要望

▽特別史跡無量光院跡の調査・整備の推進

▽世界遺産のガイドンス施設の早期建設への働きかけ

4 自然にやさしい 快適生活環境のまち

◎環境保全活動の推進

▽太陽光発電システムの一般家庭への設置補助事業の継続

▽住宅用高効率給湯器設置への助成

▽PM2.5による状況の把握と情報提供

◎廃棄物処理対策の充実

▽ゴミの分別収集の徹底と減量化の推進

▽不法投棄の監視強化やし尿収集・処理体制の充実による循環

環境社会の構築推進

◎上水道・下水道の整備

▽県道平泉停車場中尊寺線の道路整備に伴う既設管の布設替

▽長島簡水舞川地区の配水管布設替工事の継続

▽祇園地区への下水道管の布設工事の継続

▽合併処理浄化槽設置に対する支援継続

▽児童が安心して遊べる公園建設に向けた検討

▽町民農園の適切な維持管理

◎景観の保全・整備

▽環境整備の継続実施

▽景観条例と屋外広告物条例の一層の周知

▽世界文化遺産のまちにふさわしい景観の保持

5 定住と交流を支える 生活基盤のまち

◎道路・交通網の整備

▽町道中学校線、祇園線、三貫線、桐畑線、新井田1号、2号、3号線、中学校倉町線の整備

◎住宅・市街地の整備

▽木造住宅耐震診断事業や耐震改修事業、住宅リフォーム事

業の継続実施

▽東日本大震災に伴う生活再建住宅支援事業

▽町営住宅地の跡地利用の検討

◎情報化の推進

▽光ブロードバンドサービスの普及や啓発や未普及地域への事業拡大に向けた取組促進

▽スマートフォンなどを利用した新たな情報提供サービスの検討

◎消費者行政の充実

▽広域的消費生活相談窓口に関する消費生活相談員の配置

▽消費生活相談体制の強化

▽トラブルの防止や消費生活の向上に向けた啓発活動や出前講座の開催

6 みんなで進める 協働のまち

◎町民参加のまちづくりの推進

▽協働のまちづくりの体制整備と計画の実践

◎男女共同参画社会の推進

▽関係機関や団体との連携、各種講座の開催による普及啓発

▽女性のための相談事業や活動団体への支援

◎持続可能な自治体経営の推進

▽実質公債費比率や将来負担比率など財政状況の検証

▽総合計画に基づいた財政見通

滝山副町長が 退任



▶3月定例会で退任のあいさつをする滝山副町長

滝山秀樹副町長が、3月31日付けで退任されました。滝山副町長は平成23年4月から副町長として町政の運営に尽力されました。

【副町長退任あいさつ】

平泉町には3年間お世話になりました。この間の皆さまには温かく接していただき、心から感謝申し上げます。就任間もなく念願だった世界遺産登録達成の瞬間に立ち会うことができ、町の皆さまとともに喜びを分かち合ったことは今も忘れられません。平泉町のますますのご発展を願っております。3年間ありがとうございました。

アグリ平泉が東北農政局長表彰

農事組合法人アグリ平泉が、平成25年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰を受賞しました。

同法人は、土地改良事業（一関第2地区経営体育成基盤事業）を契機に個人の担い手が組織化し、法人を設立。麦や大豆などの大規模転作では、作業の効率化に努め、湿害対策の徹底や新しい栽培技術の導入などにより、高い収量を得ています。

また農産加工品直売施設「あやめ」の運営や直営パン屋の経営の抱負を話していました。

教育委員に 真篋さん



真篋光幸さん (14区)

町議会3月定例会で教育委員会委員に真篋光幸さん（14区）の任命が同意されました。真篋さんの任期は平成28年10月13日までです。



受賞を報告するアグリ平泉の組合員

おわりに

しのご検討
▽第3次行政改革プランに基づく事務事業や組織機構の見直し
▽自主性と自立性の高い持続可能な自治体経営の推進

平成25年は、「平泉ナンバーを実現させる会」、「世界遺産平泉の日を実現させる会」という民間の方々のお力によって、それぞれ平泉ナンバー、平泉の日の実現の目途がついた年であり、そしていよいよ平成26年、現実のものとなります。このような動きが行政ではなく民間から出たことについて、世界文化遺産の力、すなわち先人の文化の素晴らしさ、またそれを現在まで護り伝えてきた住民意識の崇高さ、さらには若手県民の支えを深く感じます。

これらに対し私たちができることは、多くの方々に平泉の理念を知っていただくことです。被災地と「世界遺産平泉」が連携した教育旅行の展開は、復興支援につながる上、その実践といえます。また、本町の観光産業をはじめ経済活動の一層の促進に向けて、関係機関と連携強化

を図りながら、各種施策の推進に積極的に取り組むことは、平泉の理念の普及にもつながっていくことでしょうか。

また社会情勢が厳しさを増す中、本町の発展には、住民と行政が一体となって進める協働のまちづくりが不可欠です。多くの住民が主体的にまちづくりに参加し、意見等をまちづくりに反映できるよう、住民と行政の意思疎通にさらに努めてまいります。

今回、提案いたしました平成26年度平泉町一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算並びにその他の議案につきまして、議員各位のご理解とご協力、そして町民の皆さま方の町政への参画を心からお願ひ申し上げます。私の施政方針の表明いたします。

平成26年3月10日
平泉町長 菅原正義

利用者にやさしい駅へ 平泉駅がバリアフリー化

昨年4月から進められていたJR平泉駅のバリアフリー化設備の整備が完了し、使用開始を祝うセレモニーが3月21日、同駅で行われました。

式典には嶋誠治JR東日本盛岡支社長をはじめ、菅原町長ら地元関係者が出席。嶋支社長が「多くの人に快適に利用していただくため、バリアフリー化を進めている。世界遺産平泉を訪れる人が増え、まちの発展につながることを期待します」とあいさつ。山王太鼓の皆さんによる力強い演奏と関係者がテープカットを行い、工事の完成を祝いました。

同整備では、車いすやベビーカーの利用者に配慮して新たにエレベーターを設置。これと合わせて上下線ホームをつなぐこ線橋が駅構内の南側に整備されました。



テープカットを行い完成を祝う関係者



整備されたエレベーターとこ線橋の外観